

赤ちゃんの足って小さいね！ 湖東中学校（鳥取市湖山町北6丁目、神崎正剛校長）で24日、生徒が乳幼児とその保護者に接する「赤ちゃんとのふれあい会」が開かれた。赤ちゃんの笑顔や泣き声に右往左往しながらも、生徒たちの顔はみな穏やかで、ひとときのふれあいを楽しんだ。鳥取市では初めての取り組み。

県教委、NPO未来、子育てサポートすくすくクラブの協働事業で本年度、同中の3年生228人が6日間に分けて家庭科の授業として取り組む。

「自分はだめだから…」などと、自己否定をしがちな生徒たちに命の大切さを知ってもらい、自己肯定につなげるのが狙い。

この日は生徒38人と、

2008 6. 27

## 湖東中生 パパママ気分

「赤ちゃんとのふれあい会」



幼児に絵本を読んで聞かせる生徒たち

2カ月から2歳までの22組26人の母子が参加。コミュニケーションを図る自己紹介からはじめ、生徒たちが子育てについて質問をして、赤ちゃんの様子を見ながら抱っこをしたり、絵本を読んだりした。

赤ちゃんたちはいつもと違う雰囲気興奮気

味。生徒たちも戸惑いながらも慣れてくると、一緒に遊んだり、おむつ交換を体験する生徒も。

村上友亮君と寺谷大樹君は「子どもは好き。身近に赤ちゃんがいないので、抱っこが思ったより難しかった」と話していた。